

# 教育環境の充実に向けて

## 市立小・中学校の再編に向けた取組を開始

阿南市教育委員会では、本市教育の未来を見通す教育計画として令和2年3月に「第3期阿南市教育振興基本計画」を策定しました。本計画では「認めあい・支えあい・未来につなぐ・学びの和」を教育理念とし、教育環境の充実に向けた各種の教育施策に取り組んでいます。その取組の一つとして学校再編があります。

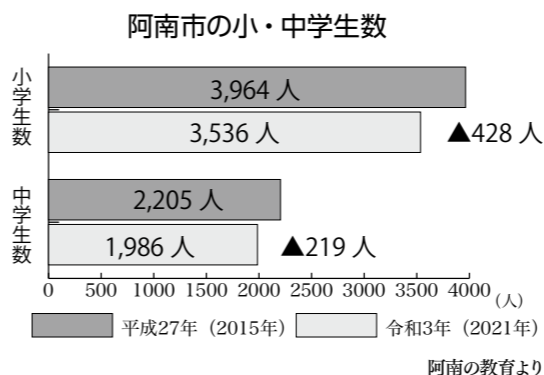
### 学校再編の背景

人口減少・少子化と  
学校施設の老朽化

現在、市内には市立の小学校26校（うち休校4校）、中学校が10校あります。これらの学校を取り巻く環境は大きく変化しており、児童生徒数の減少や施設の老朽化等、さまざまな課題に直面しています。教育委員会では、令和2年3月の「第3期阿南市教育振興基本計画」の策定に当たり、令和元年に「阿南市小・中学校の再編・統合に係るアンケート調査」を実施し、当時の保護者の皆さまから学校再編に関するさまざまなご意見をいただきました。このような背景を踏まえて、現在、学校再編についての協議や検討を進めています。

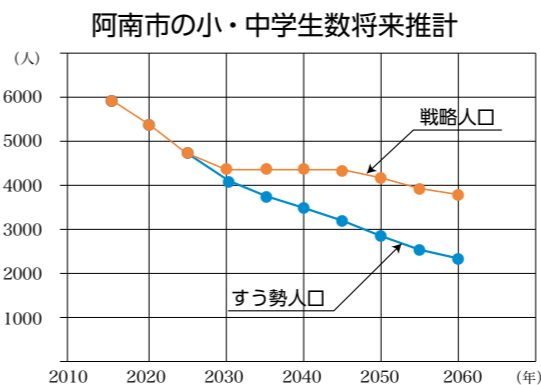
### 現在の小・中学生数

本市の現在の小・中学生数は令和3年5月時点で5,522人です。平成27年と比較してわずか6年間で647人の小・中学生数が減少しています。



### 今後の小・中学生数

今後の本市の小・中学生数は、何らかの取組を行わなければ、大幅に減少する見込みです。2020年策定版の阿南市人口ビジョンでは、「今後は、保護者・地域住民と教育上のビジョンを共有し、理解を得ながら小・中学校施設の統廃合も視野に入れ、教育の充実に図る対応が求められる」ことを指摘しています。



（用語説明）  
すう勢人口とは、今後の戦略的取組を想定しない場合に見込まれる将来人口。戦略人口とは、今後の戦略的取組を想定した場合に見込まれる将来人口。



写真と本文は直接関係ありません。

### 全国の動向

少子化に対応した学校規模の適正化については、全国的にも大きな課題となっており、文部科学省は、地方自治体の主体的な取組を総合的に支援する一環として、平成27年に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定し、学校規模の適正化についての基準や考え方を示しました。この手引を参考に、全国や徳島県内でさまざまな再編の取組が行われています。

### 再編の進め方と現在の取組状況

教育委員会では再編に向けて2段階の計画を策定する予定です。1段階目として学校再編の基本となる方針等、今後10年間の学校再編に関する基本的な考え方について示す「阿南市立小・中学校再編基本計画（基本計画）」を策定し、2段階目に、各小・中学校の具体的な再編計画や実施時期等を示す「阿南市立小・中学校再編実施計画（実施計画）」を策定する予定です。阿南市の教育に関する重要事項を取り扱う有識者会議である阿南市教育振興基本計画等策定委員会（策定委員会）に対し、令和3年10月に「阿南市立小・

中学校再編基本計画（案）の策定」について諮問を行い、意見を求めています。これを受けて現在、策定委員会では、基本計画（案）に関する審議を行っています。この基本計画（案）は、教育委員会への答申の前に、素案としてパブリックコメントを実施して、市民の皆さまから広くご意見を求める予定です。その後、基本計画（案）が答申された後は、市民の皆さまへの説明会を開催し、令和4年度中に教育委員会で基本計画を決定する予定となっております。



写真と本文は直接関係ありません。

全国の小・中学校数 文部科学省 学校基本調査より

	平成27年度	令和3年度	増減
小学校	20,601校	19,336校	▲1,265
中学校	10,484校	10,076校	▲408
義務教育学校	0校	151校	+151

※義務教育学校とは、小学校から中学校までの教育を一貫して行う学校です。

### 小・中学校再編の取組の流れ



この特集で取り上げた内容についてはインターネットでもお知らせしています。市ホームページに特設ページを開設していますので、ぜひご覧ください。



問い合わせ 教育総務課 ☎22-3299